

科名 血液内科

対象疾患名 再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病

プロトコール名 ビーリンサイト 体重45kg以上 1サイクル目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	...	42						
1	点滴注	メイン	デキサート注 生理食塩液	19.8mg 50mL	30分で投与 投与終了後30分経過後ビーリンサイト開始	↓																																				
2	点滴注	メイン	ビーリンサイト 注射用水 生理食塩液 生理食塩液	9μg 3mL 250mL 20mL	10mL/時間で投与 24時間経過したら残破棄で交換 使用するルートは薬液でプライミングする 要フィルター 生食は270mLとする。	↓																																				
3	点滴注	メイン	ビーリンサイト 注射用水 生理食塩液 生理食塩液	18μg 3mL 250mL 20mL	5mL/時間で投与 48時間経過したら残破棄で交換 使用するルートは薬液でプライミングする 要フィルター 生食は270mLとする。			↓		↓		↓																														
4	点滴注	メイン	デキサート注 生理食塩液	19.8mg 50mL	ビーリンサイト48時間経過後に30分で投与 デキサート投与終了30分経過後にビーリン サイト開始									↓																												
5	点滴注	メイン	ビーリンサイト 注射用水 生理食塩液 生理食塩液	28μg 3mL 250mL 20mL	10mL/時間で投与 24時間経過したら残破棄で交換 使用するルートは薬液でプライミングする 要フィルター 生食は270mLとする。									↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

★1クール=42日

～MEMO～

- 催吐レベル1(10%未満)
- ・day1～7は1日9μg、day8～28は1日28μgを持続点滴し、14日間休薬する
- ・副作用の発現を軽減するため、治療前に骨髄中の白血病性芽球の割合が50%超又は末梢血中の白血病性芽球数が15,000/μL以上の場合には、デキサメタゾンによる治療を行った後、本剤を投与することが望ましい。デキサメタゾンは静脈内投与で1日あたり10mg/m²/以下を最長5日間まで投与が望ましい。
- ・副作用により投与を中断した後、投与再開する場合は、投与中断期間が7日以内のときは投与中断期間を含め28日間を同一サイクルとして投与し、投与中断期間が7日を超えたときは、新たなサイクルとして投与すること。投与中断期間が14日を超えた場合は、投与を中止すること。また中断後の再投与前にはデキサメタゾンの投与を行うこと
- ・輸液ルートは調製した溶液のみでプライミングすること(生理食塩液ではプライミングしないこと)
- ・過量投与等の原因となるため、輸液バッグ交換時や投与終了時に投与ラインや静脈カテーテルをフラッシュしないこと
- ・2時間以内の中断は臨床試験では許容された
- 調製方法
生理食塩液250mLに生理食塩液20mLを加え、そこに輸液安定化液5.5mLを加えたのちに、注射用水3mLで溶解したビーリンサイトを必要量加えること